Aichi University

Lingua

INSTITUTE FOR LANGUAGE EDUCATION, AICHI UNIVERSITY
No.22 December 2023

「フランスから見た日本映画：映画館からフランス人の居間まで」より
1929年10月の『シネモンド』の表紙

CONTENTS

＜特集＞　世界で知られている「日本」

・フランス　フランスから見た日本映画：映画館からフランス人の居間まで
国際コミュニケーション学部　ピータース・コランタン …… 2～3
・中国　アニメの魅力　現代中国学部1年　鄧　卓 ……4
・韓国　韓国の日本アニメ　現代中国学部1年　キム デハン …… 5～6
・イギリス　日本じゃ買えない Superdry？？？
国際コミュニケーション学部　鎌倉　義士 …… 6～7
・ニュージーランド　ニュージーランドの日本〇〇
国際コミュニケーション学部3年　都築　里藍 ……8
・スイス　1つの都市を24時間で──ロジャー・フェデラーと東京──
経済学部　塚本　恭章 …… 9～10
・世界　訪日外国人旅行者を対象とした災害情報の提供と ICT の利活用
国際コミュニケーション学部　伊藤　潤 ……11～12
・欧米地域　欧米で知られる葛飾北斎　地域政策学部2年　柴田　啓希 …… 13
・世界　流れる「連綿かな」と音楽、そして建築
現代中国学部　木島　史雄 ……14～15
・東アジア　日本の盆栽と東アジアの盆栽　文学部　緒方　賢一 ……16～17

＜豊橋キャンパス＞　Toyohashi Language Center …… 18
＜名古屋キャンパス＞　ALC NetAcademy NEXT を活用しよう！ …… 19
2023年度外国語検定試験奨励金のご案内・編集後記 …… 20

フランスから見た日本映画：映画館から フランス人の居間まで

国際コミュニケーション学部
ピータース・コランタン

1897年、リュミエール兄弟の最初のカメラマンであったガブリエル・ヴェイユが日本から映像を持ち帰って以来、日本映画はフランスの映画ファンや映画人たちを魅了してやまない。本稿では、フランスにおける日本映画の発展の歴史を簡単に振り返る。

日本映画は、世界で最も古く、その生産性（今日でも、日本は興行収入世界第3位）だけでなく、何よりもその質の高さにおいて、世界で最も重要な映画産業のひとつである。このことは、世界中の権威ある映画祭で受賞した数々の賞が証明している。カンヌ国際映画祭で4つのパルムドールとグランプリを受賞した日本は、フランスでも特に認知され、高く評価されている。私たちは、その代表例として、黒澤明監督の映画『羅生門』（1950年）を挙げることが多いが、フランスで初めて日本映画が上映されたのは更に数十年前に遡らなければならない。

1929年、衣笠貞之助監督は、『十字路』（1928年）を海外で上映するため、2年間の旅に出た。彼はまずソビエト連邦を訪れ、次にドイツを経てフランスに渡った。そこで衣笠はプロデューサーのアンリ・ディアマン＝ベルジェと出会い、『十字路』はすぐにパリで上映されることになった。これがフランスでの日本長編映画の初上映であり、ヴェネツィア国際映画祭で『羅生門』が上映される22年前に、すでにフランスで日本映画への本格的な関心が高まっていたということになる。

その後、フランス在住で、記者、作家、翻訳家であった松尾邦之助は、この上映に刺激され、溝口健二監督にフランスでの映画上映を依頼しようと日本を訪れた。溝口監督は日活撮影所を説得し、彼の作品『狂恋の女師匠』（1925年）をフランスで上映することに成功した。日本映画はフランスで非常に注目され、1929年10月には当時の人気映画雑誌『シネモンド』の表紙を女優の徳川良子が飾った。

戦後、フランスで再び日本映画が見られるようになったのは、1951年、ヴェネツィア国際映画祭で『羅生門』が受賞してからである。これをきっかけに、フランスは時代の流れに乗り、カンヌ国際映画祭に日本映画を出品することになった。1952年に吉村公三郎監督の『源氏物語』（1951年）が撮影賞を受賞して以降、日本映画はカンヌ映画祭で数々の賞を獲得し、フランス人の目は、衣装、セット、照明を通して日本映画のエキゾチシズムに注がれた。

フランスにおける日本映画への関心が確認された後、パテ社は日本映画を活用するためにパテ・オーバーシーズという子会社を設立し、大映撮影所と最初の契約を結んだ。1954年、大映は衣笠貞之助監督の『地獄門』（1954年）を発表。審査委員長ジャン・コクトーの強い影響力のもと、映画祭の審査員はこの作品をグランプ

リ（現在のパルムドールに相当）に選出した。

『地獄門』のフランス版ポスター

パテ社は、『地獄門』を映画館で上映する際に、全編フランス語で吹き替えることにした。1952年に公開された『羅生門』よりも多くの人に観てもらうためだった。この決断が功を奏し、映画は大成功を収め、フランスで100万枚以上のチケットが売れた。これは1954年にフランスで公開された日本映画としてはかなり多い部類に入る。ちなみに、1952年の『羅生門』のチケット販売枚数は24万枚だった。

1956年、パテは島耕二監督の『幻の馬』（1955年）で子供向け映画のニッチを攻撃することで、日本映画を別の方法で利用しようとした。続いて、日本映画の配給を多様化しようとする動きが始まった。パテ・オーバーシーズは仁侠映画を優先し、日活に接近した。ジャンル映画も登場し始め、特に怪獣映画はフランスにおける大衆映画の最初の本格的な成功作となった。

この成功はテレビに引き継がれ、フランス人は日本発の映像から目を離すことができなくなった。子供向け番組『Récré A2』や『Club Dorothée』の司会者で、ドロテとして知られるフレデリック・ホシェデは、『UFOロボ グレンダイザー』、『らんま½』、『美少女戦士セーラームーン』、『聖闘士星矢』、『ドラゴンボール』といった日本のアニメ番組を数多く放送し、フランスにおける日本アニメへの本格的な熱狂が始まった。このブームは2000年代初頭のスタジオジブリの映画以降、現在も続いており、フランスのマンガ市場に大きな影響を与えている。2022年、フランスで最も売れた100冊の本のうち、4分の1がマンガだった。また、フランスのマンガ市場は日本に次いで世界第2位の規模でもある。

1920年代末には視覚的好奇心の対象でしかなかった日本映画は、フランスにおいて、まずは、黒澤・溝口・小津監督トリオのような偉大な作家たちを通して映画ファンの間で、また、今日ファンが増え続けているアニメーションを通してより多くの人々の間で、徐々にその地位を確立してきた。

『UFOロボ グレンダイザー』の
フランス版ポスター

アニメの魅力

現代中国学部１年　鄧　卓

子供の頃、一番楽しかったのは毎年の新年でした。叔父が日本からプレゼントを持って帰ってくれるからです。スマホやパソコンがまだなかった時代、テレビは子供たちの楽しみの源でした。5歳の年、私は『ドラえもん』のDVDをもらいました。新世界の扉がドラえもんのポケットに開かれたような気がしました。どら焼きが好きなドラえもん、善良なのび太、平和が好きなしずかちゃん、歌と食事が好きなジャイアン、芸術と科学が好きなスネ夫は私の子供の頃の生活に伴っていました。

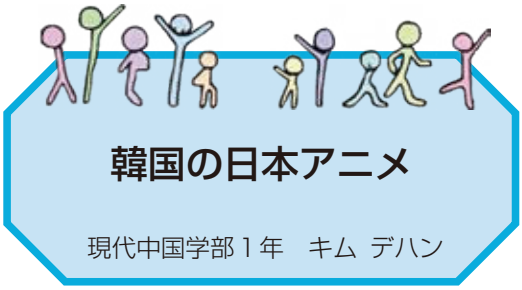
クレーンゲームの戦利品（筆者撮影）

小学校時代、毎日放課後は、テレビの前で『名探偵コナン』というアニメ放送を待っていました。このアニメでは、雨の日は魚が釣れやすく、北半球では太陽に指を向け、時計回りと12時の2分の1の方向が南になるなど、多くの知識を学びました。当然これらの知識を学んでいる中でも、偶然に怖い事件に驚いて一晩中眠れないこともありました。コナン（工藤新一）と毛利蘭との幼馴染の恋は、私に最初の恋愛の想いを持たせてくれました。

恋愛アニメというと、中学生だった私が一番好きなアニメ映画は新海誠監督の『君の名は。』です。どれくらい好きかというと、映画館でまず自分で観て、次に母と観て、友達と観たあと最後はガールフレンドと一緒に観るくらい好きでした。この映画は青を基調としており、主人公の瀧（たき）と三葉（みつは）は時々身体が入れ替わってしまい、最後には二人ともよりリアルな自分になっていきます。この奇妙な現象の起源は組紐の物語にあります。ある彗星が夜空を引き裂いて、二人の身体が入れ替わる現象が生まれました。その後、瀧の記憶は曖昧になっていきますが、三葉を忘れたくないと思い、記憶を頼りに糸守町（いともりまち）に向かいました。8年後、大学を卒業して東京で就職し、その間に何度か滝と三葉はすれ違いました。偶然の機会に、瀧と三葉は互いの電車の窓で相手を見つけました。それぞれの電車から降りた二人は最後に近くの階段で出会いました。滝は「君をどこかで？」と聞くと、三葉は涙を浮かべて「私も」と答え、二人は笑って「君の名前は？」と尋ねました。

石板の『君の名は。』（筆者撮影）

アニメは私にこの世界への好奇心を抱かせてくれます。また、アニメの中の街や風景を見ると日本に憧れる気持ちになります。もし機会があれば、ぜひ一度好きな人と一緒に物語に描かれた飛騨の糸守町に行ってみたいです。アニメからパワーをもらいましたので、日本でさらに元気をもらえると思います。



韓国の日本アニメ

現代中国学部１年　キム デハン

現在、大韓民国では日本アニメーションのブームが起きています。代表的なものでは今年韓国で公開された映画である『すずめの戸締まり』と、『THE FIRST SLAM DUNK』（スラムダンク）はそれぞれ5,544,524人、4,971,192人の観客数という記録を達成しました。またOTT市場の代表であるネットフリックスでは『鬼滅の刃』、『呪術廻戦』などのアニメーションが公開されると、常に視聴者数順位上位圏にランクインしていました。このように、なぜこんなに韓国でアニメブームが起きたのか、皆さんは気になりませんか？

コロナ

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが全世界に広がり、様々な産業と市場に影響を及ぼすようになりました。その中でもOTT（Over-The-Top）市場と日本のアニメーション興行は、このような変化の例の一つとして見ることができます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、ソーシャルディスタンスや規制措置により、多くの人が屋外で時間を過ごすことを避けるようになりました。これにより、映画館、劇場などの施設の閉鎖などの影響により、多くの人がオンラインエンターテイメントをさらに求めるようになりました。これに伴い、OTTプラットフォームの需要が急増しました。人々は映画、ドラマ、アニメーションなど多様なコンテンツを自宅でストリーミングして時間を過ごし、これらのプラットフォームの購読者数と収益が増加しました。

日本のアニメもこのような変化に影響を受けました。同時に、多くの人が家で時間を過ごすようになり、アニメーションの視聴需要も高まりました。このような状況は、日本のアニメーション産業にもプラスの影響を与えました。

しかし、コロナ時代にもかかわらず、日本映画は韓国映画館へ強い影響を及ぼしました。今からその二つ目の理由について見ていきましょう。

N次観覧

「N次観覧」は何度も劇場に足を運んで観覧することを意味する新造語です。

アニメのような映画は特にN次観覧に行く観客が多いですが。その理由は、映画を見るときにもらえる特典があることです。週替わりで変更され続ける特典によって、これを全部収集しようとする人が多いので、一人が3～4回見ることになる現象が起きるのです。余談として、私も毎週変わる特典を集めるために映画を何度も見た経験があります。

まとめ

現在、韓国の2030世代は日本大衆文化が開放化された1998年以降に生まれた世代で、ドラゴンボール・スラムダンク・名探偵コナンなど日本コンテンツに接する機会が多くありました。国民大学校のイ・ウォンドク（李元徳）教授は「自然に文化的交流が増え、日本に対する好感度を高めたうえに、このような経験を土台に日本旅行を繰り返した結果好感度の好循環が続く」と分析しました。

このようにアニメは日韓関係を結ぶ架け橋の能力を持っている重要な大衆文化だと思います。日本と韓国がより多くの文化交流をして国家関係がもっと良くなることを願います。

参考資料

1. 鬼滅の刃　特典：https://www.megabox.co.kr/
2. 視覚資料：すずめの戸締りポスター,

Daum movie: https://movie.daum.net/moviedb/main?movieId=161806

3. KOFIC映画館統計サイト：観客数統計数値（すずめの戸締り、ザ·ファーストスラムダンク）https://www.kobis.or.kr/kobis/business/mast/mvie/searchMovieList.do
4. 参考文献
   1. 韓国世論調査サイト:韓国リサーチ:対日認識調査　https://hrcopinion.co.kr/archives/27263
   2. EAI東アジア研究院：イ·ウォンドク教授の意見引用　https://eai.or.kr/new/ko/etc/search_view.asp?intSeq=21926&board=kor_eaiinmedia

日本じゃ買えない Superdry？？？

国際コミュニケーション学部
鎌倉　義士

スーパードライといっても、これはアサヒのビールではない。イギリスでSuperdryといえば服飾ブランドであり、その店舗はイギリス国内小さな街の通りやモールにあり、私が暮らしたバーミンガムでは空港にも店舗がある。

イギリスに来た日本人が街を歩いて気になるのは、すれ違う人々のTシャツに変な日本語が書いてあることだろう。「極度乾燥（しなさい）」、「寒い天候の会社」、「選手権」、「優勝者」など日本人が見ると疑問に思う句が多い。「（しなさい）」とカッコ付きで書かれても戸惑ってしまう。私も初めてこのロゴを見た時に、何か偽ブランド品が持つ胡散臭さを感じた。しかしながら、2011年に7年住んだバーミンガムを離れ、その後もイギリスへの旅行や出張では必ず購入してお土産にするぐらい気に入った服飾ブランドである。

Superdryのブランドは2003年に設立され、2004年にロンドンの中心コベントガーデンに1号店が出店された。それは私が渡英した時期と重なる。英国サッカーのレジェンドであるディビット・ベッカムやハリーポッターで主演を務めたダニエル・ラドクリフが着用したことで注目を浴び、日本では木村拓哉も着た。2023年には世界51か国で410店舗を所有し、21か国語に翻訳されたウェブサイト上でオンラインショップを展開している。日本の近隣諸国では香港・台湾・韓国・中国にも店舗がある。では、なぜ日本ではなぜSuperdryを見かけないのだろうか？

その理由にはいくつか噂がある。スーパードライのアサヒビールと登録商標が同一のため日本に出店できなかったのでは？ Superdryの創始者は日本にALTで英語を教えるため来日した。その時、アサヒのスーパードライの響きが格好良いと感じ、イギリスでブランドを立ち上げる時に取り上げたのだ。だから、日本ではアサヒから借用したことが判明するので避けている。ありそうな都市伝説ではあるが、どれもその事実を証明した資料はない。

文字というのはデザイン性に溢れたものである。アラビア語の文字は観光地のお土産にある作品として、文字を組み合わせて鳥や生き物の形を作り、その文言に考えも含めることでデザインとメッセージを両立させる。文字はメッセージのやり取りとしてだけでなく、スローガンのように一方的に考えを示すためにも使用される。顕著な例がTシャツに書かれた文字である。

私のゼミ生が卒業論文のトピックとして、胸に書かれたTシャツの英語を分析した。授業に英語が書かれたTシャツをゼミ全員が着てきて、それを写真に撮るデータ収集だった。結果として、4つの傾向があることが明らかになった。1つ目は綴りの間違いである。SUNY（sunny）、Happines（Happiness）とスペルを間違えた英語が書かれていた。次に、文法間違えの英語である。Sweet Deluxeと形容詞が続くのは不自然である。Let's Dive to Happyの文では前置詞toの後ろに形容詞Happyが続くのは非文法。3つ目の傾向は意味不明であり、Hi it's meと電話の最初にでも言いそうな文があった。最後は、一語の英語が書かれたデザインでAwesome, Trust, Futureと比較的良い響きの語の使用やCallingと電話なのか天啓か、それともトイレに行きたいのか（Nature calls）と迷う語が見られた。

Superdryの良さはデザインにある。ジャケットやシャツは袖が長く、身は絞ったデザインのため体にフィットした見た目で背が高く見える。これは私にとって嬉しい。Tシャツは半袖が短めに作られており、これも体が締まって見えるため、遠目から見ればスリムに見える。欠点もある。イギリスの気候に合わせた服だからか、今着用している膝丈のズボンは日本では蒸し暑い。袖がスリム過ぎて中に厚着はできない。あくまでデザイン重視だ。

Superdryはイギリス国内では日本におけるユニクロぐらい繁盛しているので、ビールの飲み過ぎでお腹が出たイギリス紳士もSuperdryを着用する。前述したように、Superdryは日本国内では購入できない。私はたまにヤフオクでSuperdryの出品を購入するが、届いた商品を見て本物なのかと疑うときがある。気をつけて欲しい。Superdryを買いたければ、海外旅行時にモールや繁華街で探してみよう。日本で着用する人が少ないので、友人知人と被らないファッションが楽しめる。

今朝、ラグビーワールドカップのイングランドvs日本戦を見た。残念だった。試合中、グラウンド周りにある電光掲示板にビールのスーパードライの宣伝を見つけた。Super Tryとべたなダジャレの宣伝文句だった。そういえば、最近ヨーロッパでアサヒビールがスーパードライの販路拡大を狙っているようである。スーパードライはSuperdryを真似たと思われるのだろうか。イギリスに行って確かめてみたいものである。

私が所有するSuperdryの服９着

Superdry 極度乾燥（しなさい）

優勝者＝Championなのだろうか

ニュージーランドの日本〇〇

国際コミュニケーション学部３年
都築　里藍

皆さんは、ニュージーランドと聞くと何を思い浮かべますか？　おそらくラグビーやキウイフルーツ、マオリなど、メディアを通して得るイメージが浮かぶことでしょう。私は高校生の頃にニュージーランドに短期留学をしました。留学中ニュージーランドにいながら日本を感じる場面は多々ありましたが、今回はその内の2つを紹介します。

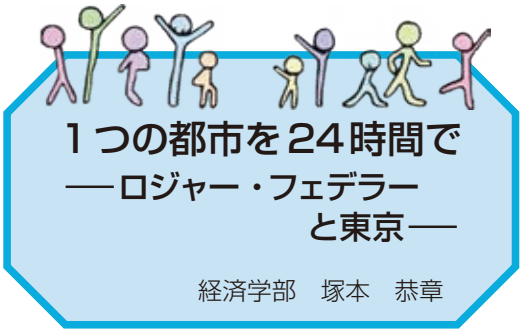
1つめは日本語です。私が通ったE高校では日本語の授業や日本の物がたくさん置いてある教室があり、生徒たちも日本語の授業や私たち日本人との交流を楽しんでいました。ある日の日本語の授業では端午の節句について学び、日本人の私でも改めて学ぶことがいくつかありました。日本の外から日本を見て、学び直すことができた良い機会になったと思います。休み時間には折り紙や現地のカードゲームで遊んだりして交流を深めました。

先日、現地での私の学校生活をサポートしてくれた女の子に、E高校の日本語学習について聞いてみたところ、日本語教師がとても良い人物だったそうで、生徒はいつでも質問できたそうです。またこの高校では日本人留学生を多く受け入れていたため、日本語の会話練習をしたり日本について彼らに質問することもできたそうで、彼女にとってこの高校での日本語学習はとても楽しいものだったようです。

休み時間の教室（筆者撮影）

2つ目は日本車です。当時ホストマザーも日本メーカーの乗用車に乗っていて、現在でもGoogleマップで見るニュージーランドでは、至る所で日本の各メーカーの車が使われています。皆さんも是非探してみてください。また留学中に最も驚いた日本車は、スクールバスです。ホストファミリー宅から高校までの通学にはスクールバスを利用していましたが、車内の掲示板や注意書きなどが日本語で書かれていて、その字体やデザインは少し昔のものでした。

これらの他にも、坂茂（ばん　しげる）氏が設計した紙の教会やサーモンのにぎり寿司や巻き寿司、現地で暮らす日本人など、ニュージーランドで日本を感じることができる場面はたくさんあります。皆さんもニュージーランドに行ったら、是非日本を探してみてください。



1つの都市を24時間で
――ロジャー・フェデラーと東京――

経済学部　塚本　恭章

スイス人のロジャー・フェデラー（Roger Federer、1981－）は、男子テニス界の超一流選手でした[1)]。昨年2022年に41歳で現役引退しましたが、YouTubeでフェデラーのプレーがいつでもどこでもみられる21世紀、人々の「記憶」のなかではいまだに彼は「現役」選手のままでしょう。

フェデラーは日本人にはお馴染みのユニクロと2018年に新たに長期大型契約をし、日本との関わりが以前より深くなってきています。この文章は、「24 Hours with Roger（1つの都市を24時間で）」というコンセプトで、ユニクロから動画配信されたものの紹介がメインです。

テニスの四大大会グランドスラム（全豪、全仏、ウィンブルドン、全米OP）の開催地メルボルン、パリ、ロンドン、ニューヨークといった国際都市に先駆けて、フェデラーの「最初の訪問地」となったのが「東京」です。フェデラーは、東京の〈魅力〉というものをどう語っているのでしょうか。そこには、われわれ日本人ですら知らない「日本」があるようです。フェデラーの1日のスケジュールは以下のとおり（動画配信に記載の文章からの引用です）[2)]。

9:00 AM　Once around the Palace

ロジャーは、旧友で同じ元プロテニス選手の伊達公子さんと合流し、その美しさと静謐さからランナーに人気のある、壮大な皇居の周りを走りました。東京の真ん中にある、見事な史跡です。

11:00 AM　All is fine at the Shrine

コート上では何度もロジャーと対面してきた錦織圭さん。今日はロジャーを連れて、徳川家康公を祀るために1627年に創建された上野東照宮へ。一緒に瞑想のひとときを体験します。圭さんはロジャーに参拝方法を教え、この素晴らしい建造物の見どころを案内します。

上野東照宮でのフェデラー

3:00 PM　Visiting Nanzuka Underground

現代美術ファンのロジャーは、ギャラリスト南塚真史氏が開いた「NANZUKA UNDERGROUND」へ。そこでアーティストの田名網敬一氏と出会い、鮮やかな色彩に満ちた彼の個展「A Mirror of the World」を鑑賞。常に好奇心旺盛なロジャーは、田名網氏に彼の作品やインスピレーションについて話を聞きます。

1）スイスのバーゼル出身の元プロテニス選手で、史上最高（Greatest of All Times）の選手の一人。グランドスラム20回の優勝（全豪6、全仏1、ウィンブルドン8、全米5）を誇る。ウィンブルドン優勝8回、グランドスラムでのマッチ勝利数369勝は現在、歴代最多記録。ラファエル・ナダル、ノバク・ジョコビッチ、アンディ・マレーとともに「ビッグ4」と称され、男子テニス界を長らく牽引してきました。美しく流麗なプレースタイルでファンを魅了し続けてきたレジェンドは、引退後の今も絶大な人気を勝ち得ています。

2）本原稿で使用している3枚の写真はユニクロ動画からの転載です。
詳しくは、以下に記載するユニクロのスペシャルサイトをぜひご覧ください。
https://www.uniqlo.com/jp/ja/contents/feature/24hourswithRoger/

5:00 PM　We're All about Transparency
THE TOKYO TOILET プロジェクトの一環として、プリツカー賞を受賞した建築家の坂茂氏が設計したのが「トウメイ トイレット」。透明であることが清潔さや安全性を表すとともに、人々の本能的な慎ましさに訴えかけます。このような革新的なトイレが、渋谷区内17か所に設置されています。

東京の景観を車窓から

6:00 PM　A Visit to Nonbei Yoko-cho
ロジャーは伊達公子さんと錦織圭さんに連れられて、風情ある路地裏の「のんべえ横丁」にある居酒屋へ。「なだ一」は何世代にもわたり、国際色豊かなお客さんのお腹を満たしてきました。伊達さんや錦織さん、現地のお客さんと一緒に、店名物のおでんを味わいます。

のんべえ横丁でのフェデラー

8:00 PM　A Time to Savor The SG Clubの2階にある隠れ家バー「Savor」でくつろぐロジャー。バーテンダーは、かの有名なミクソロジストで、SGクラブの仕掛け人でもある後閑信吾氏です。彼はロジャーのために、おすすめの一杯を作りながら、レシピの秘密も少しだけ教えてくれました。

フェデラーが宿泊したホテルは、港区虎ノ門の東京エディション。起床は7:00 AM。1日のスタートはそこから皇居の千代田区、上野東照宮の台東区、それ以降の訪問地はすべて渋谷区です。こうしてフェデラーの1日の東京訪問・体験スケジュールを眺めてみると、国際都市・東京に力強く存在し続けるダイバーシティとダイナミズムが、多方面・多分野―居住空間、伝統建築、現代アート、トイレット革新、ユニークさとおもてなしの食文化、カクテルのアーティストなど―で鮮やかに浮かびあがってきます。「東京が好きな理由のひとつは、古代と現代が独創的に融合しているところです」とフェデラー。上野東照宮の瞑想空間で、フェデラーは「日本の国民的英雄であるケイと一緒にここにいる」といっています。超一流のフェデラーが称するからこそ、Kei Nishikoriという日本人テニス選手の偉大さと彼への敬意を、「日本人」であるわれわれにより強く実感させてくれるのです。

フェデラーはいつも動画の最後で、「僕と一緒に世界を旅しませんか？」といっています。ユニクロが配信したこの動画を何度も視聴していると、このスケジュールにそって自分も本当に「体験」したくなるのです。ユニクロを着こなすフェデラーの温厚でフレンドリーな人柄が滲み出た東京満喫の旅。この動画は、まさにこれからよりいっそう〈世界で知られてほしい「日本」と「東京」〉の息遣いというものを凝縮的に象徴しているかのようです。フェデラーという「世界」が開いてくれた「日本」への〈新たな扉〉であるといってもよいでしょう。日本そして東京をこよなく愛してくれて、ありがとうロジャー。で、今度はいつ来てくれるのかな？

訪日外国人旅行者を対象とした災害情報の提供とICTの利活用

国際コミュニケーション学部
伊藤　潤

日本はその地理的条件から自然災害の発生リスクが常に存在し、風水害や地震による被害が毎年発生している。災害対策について考える際、浮上してくる課題のひとつが外国人への対応である。中でも、ポスト・コロナの流れを受けて訪日外客数が回復する中で、外国人旅行者への対応に注目する必要が出てきている。2023年も全国各地で災害が起きているが、その際に多くの外国人が現地の状況や公共交通機関の情報を十分に把握できず、駅や観光地などで立往生する姿が度々報道されている。過去の東日本大震災（2011）など複数の震災の事例からも明らかなように、大規模災害になれば事態はより深刻化する[1)]。

災害時、外国人旅行者の多くにとって問題となるのが言語や知識の壁である。日本の公共施設や交通機関の多くは多言語表示が一般的になっているが、コミュニケーションは基本的に日本語で行う必要がある。そのため、短期滞在者だけでなく、在住外国人の中にも、正確に情報を理解していない場合がある。加えて、外国人旅行者の多くは地震について十分に理解をしていない。よく指摘されるのが「ストック情報」と「フロー情報」である。日本人の場合は、教育・訓練、報道、さらに実際の経験などを通じて、災害（例：地震）の性質やその対応に関する知識を「ストック情報」としてある程度保有している。そのため、災害時に流れてくる危険情報や対応情報といった「フロー情報」を受けて、多くの人が行動をとることができる[2)]。これに対して、外国人旅行者は、その多くが地震など災害に関する「ストック情報」を持っていないため、いくら避難情報など「フロー情報」を出しても、伝わらない恐れがある。

以上のような経緯から、外国人旅行者を想定した多言語での情報提供の必要性は広く認識されており、官民協力による取り組みが進められている。中でも、近年ではICT技術の活用に注目が集まっている。例えば、国土交通省観光庁監修のもとで民間ベンダーが開発した災害時情報提供アプリ「Safety tips」（2014年リリース、更新継続中）がある［図1参照］。この無料アプリは、英語や中国語（簡体字／繁体字）など15言語に対応しており、日本国内における緊急地震速報、津波警報、噴火速報、気象警報、台風情報、熱中症情報、国民保護情報、避難情報をプッシュ通知する仕組みとなっている。さらに、外国人受け入れ可能な医療機関情報、交通機関情報、被災時の対応フローチャートなども含まれている。そのため、滞在時にSafety tipsを利用してもらえれば、母語または慣れた言語を用いて、避難行動に必要な情報をワンストップで収集することができる。また、Safety tipsはAPI連

図1　「Safety tips」の概要

出典：国土交通省観光庁Webページ
［https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001625119.pdf］

1）詳細は増田 充真、「災害時における外国人旅行者への対応に関する一考察」『RESEARCH BUREAU 論究』第18号、2021年12月、pp. 100-114を参照。
2）田村 太郎、「災害時における外国人支援」『自治体国際化フォーラム』第332巻、2017年6月、p. 4。

携によって他のアプリケーションサービスに情報を配信することが可能であり、日本政府観光局のアプリ「Japan Official Travel App」やナビタイムジャパン社の「Japan Travel by NAVITIME」にも組み込まれている。ただ、アプリについては、高い有用性が見込まれる一方で、通信障害のリスクや端末の電池切れで利用できないリスクがある。なにより、ユーザーがアプリをインストールしなければ機能しないという課題がある。そのため、積極的な広報活動によるアプリの周知拡大はもちろん［図2参照］、その有用性を理解してもらうための仕掛けが求められる。

図2　訪日外国人旅行者向けに災害時の情報取得先を紹介するポスター

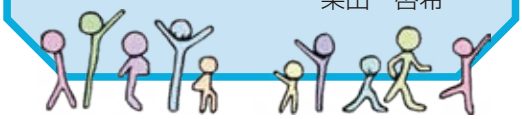
［※右側に「Safety tips」に関する情報］

出典：国土交通省観光庁Webページ
［https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001471578.pdf］

今後、南海トラフ地震や首都直下地震など「国難級」災害の発生が懸念される中、外国人旅行者に対して災害のリスクや対策に関する情報を周知していく重要性はより一層高まっている。とはいえ、日本国内において、多言語対応できる環境を整備・拡大することは、決して容易なことではない。ボランティアや外国人住民の活躍に期待する意見もあるが、大規模災害では彼ら自身が被災し、対応できなくなることが十分にありうる。それゆえに、SNSやスマホのアプリを通じた多言語での情報提供や、避難所に多言語対応の端末を設置するなど、ICTを積極的に活用する動きが広まっている。今後の政策的方向性としては、災害発生時にも持続可能なICT環境を社会全体で整備することにより、外国人旅行者が単独で必要な情報を収集し、自らの安全を主体的に確保できるようにしていくことが求められる。このことは、単に外国人旅行者向けだけでなく、日本の災害・危機に関する情報提供体制の向上にも寄与するであろう。

欧米で知られる葛飾北斎

地域政策学部２年
柴田　啓希



浮世絵師と聞いてあなたは誰を思い浮かべますか？　東洲斎写楽？　歌川広重？　日本人にとってこの質問の回答は違うと思います。ただ多くの欧米人はこの質問にこのように答えるでしょう。「葛飾北斎」と。1998年にアメリカの著名な写真誌『LIFE』が有識者たちに依頼した「大きな業績を残した人物100人」というアンケート調査によると北斎ただ一人が19世紀唯一の画家としてランクインしました。このように欧米における北斎の評価は高いです。そこで今回筆者は欧米で知られる葛飾北斎について執筆していこうと思います。

北斎は19世紀の西洋に大きな影響を与えました。その一つにポスターがあります。それまで一般大衆への情報連絡手段は活字がメインでした。やがて石版画をはじめとした印刷技術の発達によって絵を忠実に複製することが可能になります。その結果視覚に訴えかけるポスターの需要が高まったのです。その時代に現れた新しいスターにロートレックがいます。彼は北斎などの浮世絵師からヒントを得、大胆に平面化した彩色に簡素で力強い文字を配するなどしました。ポスターという新しいメディアで一世を風靡した彼に影響を与えたのはまぎれもなく北斎だったのです。

あなたは漫画という耳慣れた言葉は北斎漫画によって広く使われるようになったのは知っていますか？　北斎漫画は一コマ漫画のように笑いを誘う絵もあれば、コマ割りしたページもあります。踊る人の動きを時間で分割して描いたりもしています。そのため絵の手本としてではなく、ただ眺めても楽しいです。また19世紀のヨーロッパ美術界を席巻したジャポニスムの発端となったのも北斎漫画でした。画家や工芸家はもちろんのこと、ドビュッシーのような音楽家までもが北斎漫画に仰天したのです。

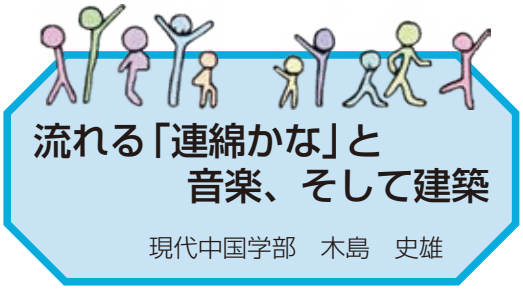
エドガー・ドガは「北斎は浮世絵の絵師たちのうちの一人にすぎないのではない。彼自身が一つの島であり、大陸であり、世界全体なのだ。」と言いました。北斎は西洋美術に多大な影響を与えただけではなく、モネやルノワール、ゴッホ、ピカソといった偉大な画家たちの道標ともなったのです。この後北斎の作品について調べてみたらどうですか？

アンリ・ド・トゥールーズ・ロートレック「Divan Japonais」

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック | 知れば、アートは楽しくなる－ ART LOVER（art-lover.me）

北斎漫画

北斎漫画と冨嶽三十六景 | MOA美術館 ¦ MOA MUSEUM OF ART（moaart.or.jp）



流れる「連綿かな」と音楽、そして建築

現代中国学部　木島　史雄

最近『パラゴーネ』という本が出版されました[1)]。「パラゴーネ」とは聞かない言葉ですが、これは西洋で行われた美術ジャンル優劣論争のことを言います。つまり西洋では、彫刻や絵画などの間にジャンル区別とその優劣の意識が強かったことを示しています。しかし考えてみれば、彫刻と絵画がいつも截然と区別されて鑑賞されるわけではありません。バロック宮殿では、建築の中に絵画が掛けられ、その前に彫像が置かれてあって、時にバロック音楽が流れていたかもしれません。つまり全体としてバロック体験を現出させることが期待されているでしょう。とすれば、むしろ考えるべきはジャンルの優劣ではなく、ジャンルをいかに有効に組み合わせて「良い鑑賞体験」につなげるかという工夫にあると言えそうです。

さて今回の特集テーマは、「世界で知られている『日本』」でした。上に述べたような鑑賞体験の視点から、「書（お習字）」を考えてみようと思います。

知り合いのドイツ人日本美術研究者のMさんは、研究のため来日して、「連綿かな」に魅了されたと話してくれました。一般に美術作品は制作者の手を離れると、「完成」として固定されます。その点は「書」も同じなのですが、違いもあります。「書」は鑑賞する人が、制作を追体験できるのです。ひらがなの場合は筆順と言うほどのこともありませんし、漢字も小学校で習いましたね。筆順を知っていると、文字をみただけで、その文字を出現させるべく作者が作り出した時間が、鑑賞者の中にも流れ始めるのです。筆の動きを追体験すれば、そこにリズムが生まれます。折れ曲がる部分は強いアクセントとなり、かすれはサビでしょうか。太く濃い線は強さのあらわれでしょう。隣り合う文字との関係はハーモニーにもなるでしょう。そして、記されているのは文字ですから、そこにコトバが付随します。コトバがあれば音声も頭の中に流れますし、意味や論理も生じます。筆を動かす腕の動きもトレースできますね。つまり「連綿かな」を見れば、鑑賞者の中に流れが生じ、リズムとハーモニーとメロディーとコトバと意味と身体感覚がそこに浮かび上がってくるのです。

油絵を見ても、画家がどういう順番に色を載せていったのかは判りません。彫刻を見ても音楽は流れません。これらは、瞬間で完結するフラッシュ型芸術と言ってよいでしょう。それに対して書は音声と意味と視覚と身体動作が流れるストリーム型芸術なのです。

そして逆に「書」が音楽と違うのは、完成形が提示されているということです。一度きりの体験として消えてしまうのではなく、いつでも我々はストリームを流し始めることができます。再生装置のおかげで、音楽の方も鑑賞者に身近なものになってきましたが、音楽再生はあくまで他者の演奏をたどるのであって、速さを調節したり、気に入ったところを繰り返したり、全体から部分へとクローズアップしたり、息を止めて流れが始まるのを待ったりというようなことができません。しかし「書」の鑑賞では、それが思うが儘です。

このような特性を持つ「書」ですが、実は東洋に特有の芸術ジャンルなのです。西洋にも読みやすく、速く、きれいに記すための書字法（カリグラフィー）やタイポグラフィーはあります。しかし芸術として評価されることはありません

1)『パラゴーネ ―諸学芸の位階論争―』ベネデット・ヴァルキ著 2021年 中央公論美術出版

「寸松庵色紙」東京国立博物館蔵
出典：ColBase（https://colbase.nich.go.jp/）

し、鑑賞の蓄積もありません。とすれば「書」という芸術ジャンルを育ててきたことは、東洋の誇りといってよいでしょう。とりわけ仮名で和歌を記した古筆は、ストリーム芸術の洗練の局地といえるでしょう。

また建築を「凍れる音楽」と表現することがあります。たしかに三重塔にはリズムが感じられますね。しかし塔の出現過程とその緩急を追体験したり、意味を実感したりすることはできません。ところが書は、凍って固着した音楽ではなく、芸術のエッセンスが時間の中で立ち現われ、表情を変え、うつろうさまを、感じさせてくれるのです。

Mさんは、いくら勉強しても、筆順や音声の流れを自在にトレースするのは難しいといっていました。でもみなさんには割と容易なのではないでしょうか。あとは紙面上の線からリズムやアクセントや表情をくみ取る技術を習得するだけですね。

こんなに魅力的な芸術があることは、世界であまり知られていません。「世界で知られている『日本』」ではありませんが、「世界で知られてほしい『日本』」としてご紹介しました。

日本の盆栽と東アジアの盆栽

文学部　緒方　賢一

さて、今から盆栽について文章を書こうとしているのだが、果たして盆栽に興味を持っている人などいるのだろうか、タイトルだけで敬遠されてしまうのではないだろうか。はなはだ不安ではあるが、ともかく始めたい。

盆栽といえば、庭先でおじいさんがハサミを持って枝や葉っぱをチョキチョキしていると、そばでボール遊びをしていた子供が勢い余って盆栽にボールをぶつけてしまい、おじいさん激怒！という光景が思い浮かぶ程度で、それ以上の感慨は特にない人が多いのではないだろうか。私もその一人であった、庭園に興味を持ってしまうまでは。

私は中国庭園を研究しているが、きっかけは学生時代に中国を旅行したことにある。江南（長江下流域）地方の都市を巡っていると、清代に建設された庭園があちこちに残っていることに気がつく。そのいくつかに入ってみると、日本庭園とあまりに様相が違っているのに驚き、中を遊覧している現地の人が何の違和感も抱いていないことに（当たり前だが）、再び驚いたのであった。で、いつかこれを調査・研究してみたいと思って今に至るわけなのだが、それはともかく、中国といえど庭園には当然のことながら盆栽が置いてある。

この中国の盆栽がまた変わっている。我々のイメージする盆栽とは、植木鉢に松などが植えられているものが一般的だと思うが、中国の盆栽は、鉢の上に植木と石が載っているのが基本形なのである〔写真1〕。さらに、石しか載っていないものさえある〔写真2〕。どうやら中国の盆栽は日本の盆栽とずいぶん異なっているようである。

〔写真1〕

〔写真2〕

盆栽といえば日本独自の芸術だと思っている人が多いだろう。たとえば並松信久は「盆栽は日本を代表する美術文化のひとつである。今日、BONSAIという言葉が使われているように世界各国に広がっている[1)]」と語る。アマゾンで盆栽関係の本を検索してみると、確かに数え切れないほどの盆栽本がヒットする。『盆栽世界』『月刊近代盆栽』などの盆栽専門誌があるかと思えば、『猫街盆栽店』『雨天の盆栽』という盆栽を主題にした漫画まであるようだ。

続いて「BONSAI」で検索すると、ジャパニーズ・ボンサイ関連の英語の本がまたもや大量に表示される。日本の盆栽が国内外を問わず、広く認知され、人気を集めていることが、ちょっ

1）並松信久「近代盆栽の成立と文化融合　―自然の「仕立て」と国風化―」『京都産業大学論集　人文科学系列』第54号、2021年。

と調べただけですぐに判明する。

しかしこの盆栽も、やはりというか中国に起源がある。中でも有名なのは、唐の章懐太子の墓に描かれた壁画である。絵の中では、侍女が両手で丸い鉢を抱えており、その鉢の上には石の山と赤い花をつけた植物が載っている。

韋金笙によると、中国の盆栽は「山水」を縮小して盆上に再現したものだという[2)]。魏晋南北朝期に大自然を理想郷と捉え（「山水」の成立）、それを絵や詩に表現するようになるのだが、盆栽はその山水を立体として構成したものなのである。人々は盆栽を眺めながら、仙人となって深山幽谷に遊ぶおのれを思い浮かべたに違いない。この盆栽はやがて朝鮮[3)]、日本、さらにはベトナムにも伝わった。

ベトナムの盆栽は独自の発展を遂げている。「ホンノンボ」と呼ばれるベトナム盆栽は大きめの盆に水を張り、そこに石の山を載せ、あちこちに植物を植え、さらに建物や人のミニチュアを配置するのが基本形である〔写真3〕。中でもミニチュアが目を引くが、宮田珠己の調査によれば、ホンノンボには「四つの職業（漁師・木こり・農夫・畜産）」と「三つの宗教（仏教・道教・儒教）」が表現されているとのことである[4)]。例えば、本を読む人のミニチュアは儒教を表しているのだという。

〔写真3〕

ひるがえって日本の盆栽であるが、中国やベトナムのものとは異なり、基本的には鉢と花木だけで構成されている。そこに、夾雑物をそぎ落とした、枯山水庭園にも通ずる「日本の美」を見出す人もいるだろう。

しかし、この日本的盆栽は実は近代になって生み出されたものであり[5)]、盆栽業界（？）では「近代盆栽」と名付けられている。鎌倉・室町期の盆栽は、中国式の石と花木を組み合わせて作る形式が主流であり、江戸に入ると、石を用いる「盆山」と、草木メインの「鉢木」との、二つの流れに分岐する。

明治期に入ると、盆栽は「室内に置かれるもの」として、よりコンパクトな形になる。明治6年（1873）に開かれたウィーン万博に日本が「BONSAI」を出品したその時が、おそらく盆栽が東アジア以外の国々に認知された瞬間であろう。

大正・昭和になると、各地で展覧会が開催され、盆栽は中国由来ではなく、日本独自の文化だという意識が形成されるようになる。

本場中国が辛亥革命、日中戦争、共産主義国家樹立などの激動の時代を経ている間に、たまたま少しばかり早く開国、近代化および経済発展を遂げた日本が西洋世界に注目される対象となった。結果として盆栽も「JAPANESE BONSAI」なる「日本文化の精髄」を体現したものとして脚光を浴びることとなったのである。

2）韋金笙『論中国盆景芸術』上海科学技術出版社、2004年。
3）朝鮮の盆栽については、李樹華「朝鮮盆栽・盆石の確立における中国の影響」（『ランドスケープ研究』第62号、1999年）が参考になる。
4）宮田珠己『ふしぎ盆栽ホンノンボ』ポプラ社、2007年（後、講談社文庫、2011年）。
5）以下の記述は、前掲並松論文および依田徹『盆栽の誕生』（大修館書店、2014年）を参考とした。

豊橋語学教育研究室

ランゲージセンター
Language Café

参加者募集中！

コミュニケーション力UPをめざそう！

アットホームな雰囲気の中で、ネイティブの先生や
留学生との異文化交流を楽しみましょう！
どなたでも自由に参加できます☆

English Café

お昼の部	3時間目
【月・火・水・金】	【月・水・金】
12：40～13：10	13：20～14：50

Café Français

お昼の部	5時間目
【月・金】	【火】
12：40～13：10	16：40～18：10

Global Café

723教室にて
開催中！

お昼の部
【火】
12：40～13：10

留学生＆日本人学生
日本や各国にちなんだ
ゲームやイベントが
盛りだくさん！

ランゲージセンター
梢風館１F　愛知大学豊橋語学教育研究室

★ Cafeの実施期間は通常講義期間中のみとなります
★ ご質問などはお気軽にランゲージセンタースタッフまで！

名古屋語学教育研究室より

英語eラーニング

ALC NetAcademy NEXTを活用しよう！

ALC ALC NetAcademyは、Practical Englishが終わった後も大いに活用できます。

TOEIC®テスト対策に

TOEIC®L&Rテスト
勉強がスマホで手軽
にできます

スマホで簡単！

通学などの
隙間時間に
効率的よく
利用できる！

TOEFL iBT®テスト対策に

リスニング
文法
リーディング
に対応してます

QRコードを読み取って
ログインしてください

基礎からの
英文法トレーニングコースで
英文法の総復習ができるので、理解が
不十分な単元のおさらいができます

2023年度　外国語検定試験奨励金のご案内

	名古屋校舎		豊橋校舎	
言 語	試験名称	基準	試験名称	基準
英 語	実用英語技能検定（英検）	準1級以上	実用英語技能検定（英検）	2級以上
	TOEIC Listening & Reading Test ＊	650点以上	TOEIC Listening & Reading Test ＊	530点以上
	TOEIC Speaking & Writing Tests ＊	130点以上	TOEIC IP	①750点以上 ②前年比100点以上
	TOEFL iBT	50点以上	TOEFL iBT	50点以上
	IELTS	4以上		
	国際連合公用語英語検定（国連英検）	B級以上		
	ビジネス通訳検定（TOBIS）	3級以上		
	日商ビジネス英語検定	3級以上		
	通訳案内士（通訳ガイド）	合格		
ドイツ語	ドイツ語技能検定（独検）	4級以上	ドイツ語技能検定（独検）	4級以上
フランス語	実用フランス語技能検定（仏検）	4級以上	実用フランス語技能検定（仏検）	4級以上
	DELF・DALF	A1以上	DELF・DALF	A1以上
	TCF	100点以上	TCF	100点以上
中国語 ◎	中国語検定	4級以上	中国語検定	4級以上
	HSK	3級以上	HSK	3級以上
ロシア語	ロシア語能力検定	4級以上	ロシア語能力検定	4級以上
韓国・朝鮮語	ハングル能力検定	4級以上	ハングル能力検定	4級以上
	韓国語能力（TOPIK）	2級以上	韓国語能力（TOPIK）	2級以上
タイ語	実用タイ語検定	4級以上		
日本語	日本語能力（JLPT）	N1級	日本語能力（JLPT）	N1級
	BJTビジネス日本語能力テスト	460点以上	BJTビジネス日本語能力テスト	460点以上

＊名古屋校舎のTOEICは公開テストのみとなります。　◎中国語は現代中国学部を除きます。

受 付 期 間　名古屋校舎　2024年1月31日まで
豊橋校舎　2023年12月1日～2024年2月16日
詳細は所属校舎の語学教育研究室にて確認してください。

奨励対象者　学部学生・短大生（協定留学生・大学院生・科目等履修生は除きます）

〈編集後記〉

今回のLingua22号は、「世界で知られている『日本』」を特集することになりました。日本人は「外国の文化を学ぶことには興味があるが、日本の文化を発信することは苦手である」、と聞いたことがあります。外国でその国の文化に触れることはこの上ない喜びでありますが、次に外国に行くときは「この国では、日本のことをどう紹介しているのだろうか」「この国の人の目に日本はどう映っているのだろうか」と考えながら過ごすのも楽しいかもしれませんね。

前号に続き、先生方をはじめ、留学生を含む大学生のみなさんが執筆にご協力くださいました。どの文章も、知的好奇心を刺激する魅力的なものばかりです。一読いただければ幸いです。

Lingua22号編集委員会（高村　めぐみ、藤森　猛、島田　了、下村　武）

Aichi University Lingua No.22
2023年12月15日発行
名古屋語学教育研究室　〒453-8777　名古屋市中村区平池町4丁目60-6
豊橋語学教育研究室　〒441-8522　豊橋市町畑町1-1
http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken/